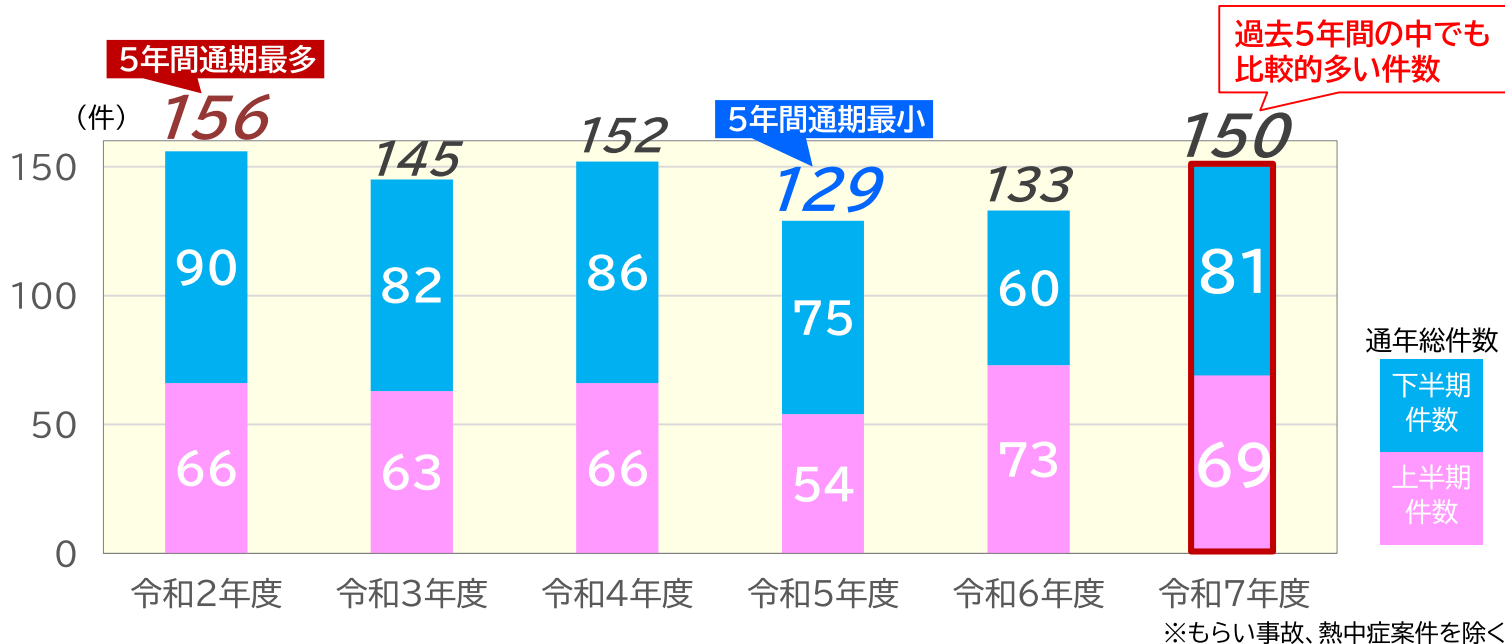
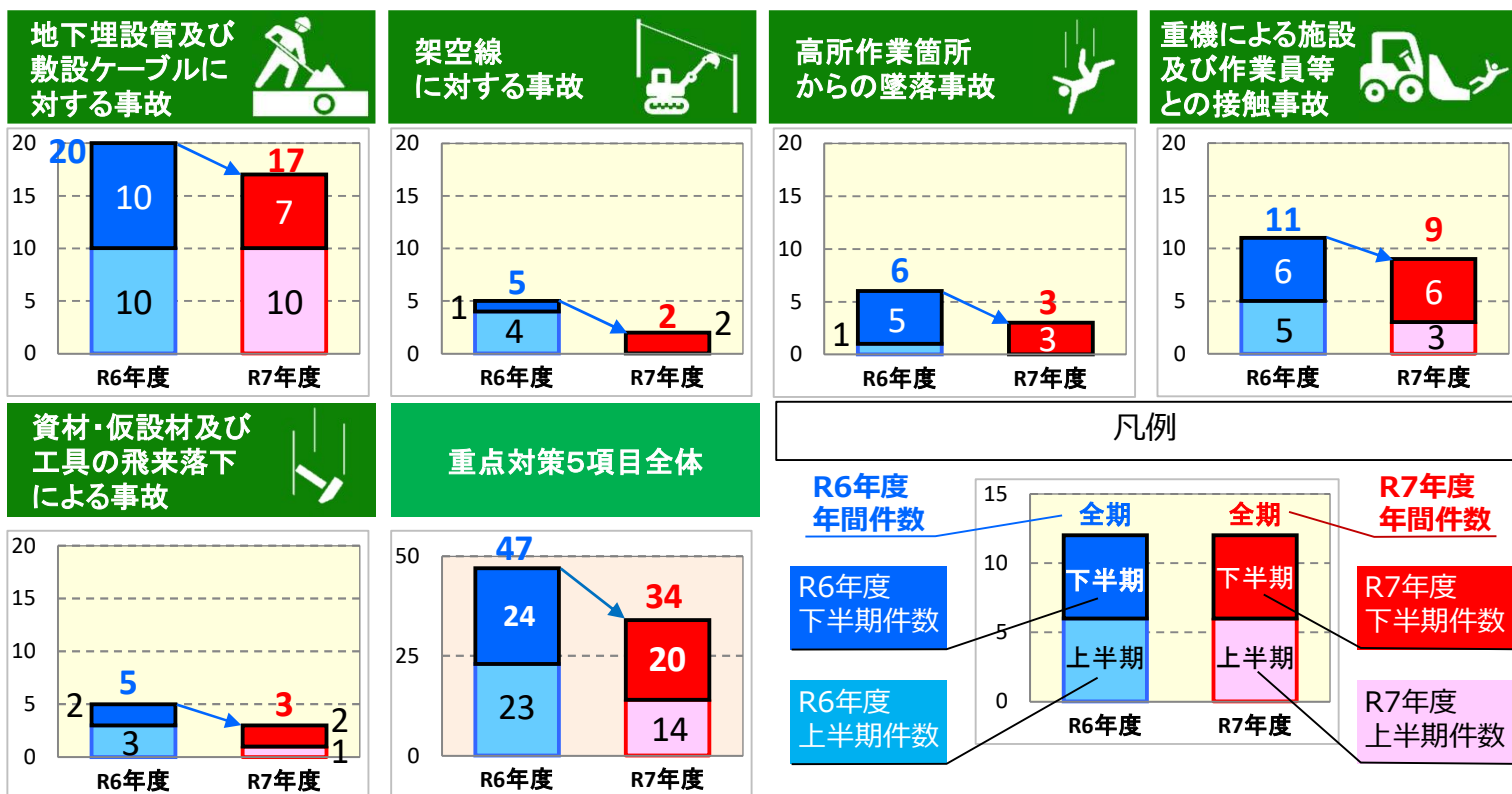


令和7年度 直轄工事等事故の発生状況

近年の年度別工事等事故発生件数(累計) ※R8.3時点速報値



工事等事故防止重点対策項目(5項目)の発生件数 ※R8.3時点速報値



令和7年度は下半期に事故が多発し、年間事故件数は過去5年でも多い水準となりました。重点対策項目事故は前年度より減少していますが、依然として一定数発生しています。特に地下埋設物事故および重機接触事故が多く発生しています。これらの事故防止には、作業前の確実な確認や作業中の状況変化への対応を徹底することが重要です。

安全対策を確実に実施し、気になる点があれば立ち止まり確認する意識を現場全体で共有しましょう



令和8年度の工事等事故防止重点対策項目

近畿地方整備局では、管内の直轄工事及び現場作業を伴う業務における事故の安全対策強化を図るため、「工事等事故防止重点対策項目」を策定し、工事等における事故防止に取り組んでいます。

令和8年度においても、近年の事故発生傾向等を踏まえ、下記のとおり定めました。



①地下埋設管及び敷設ケーブルに対する事故

- 掘削作業前に、**埋設物の位置を確実に把握**しましょう
- 埋設管**近接部は手掘りを原則**とし、重機使用は十分に離隔を確保した上で行いましょう



②架空線に対する事故

※柱、支線含む

- 作業前に、**架空線の位置・高さ・種類を確実に把握**しましょう
- 接近のおそれを感じたら、**ためらわず作業を止めて確認**しましょう



③高所作業箇所からの墜落事故

※高所作業とは法面・足場等安衛法に規定する高さ2m以上の作業箇所をいう
※滑落含む

- 作業前に、作業箇所の**危険箇所を把握**しましょう
- 短時間・短距離の移動でも、**高所では常に墜落制止用器具を使用**しましょう



④重機による施設及び作業員等との接触事故

※施設とは公共施設及び第三者施設をいう(架空線は②に含む)
※重機の転倒を含む

- 作業範囲を明確にし、**不要な立入を防止**しましょう
- 安定した地盤を確保し、**転倒防止を徹底**しましょう



⑤資材・仮設材及び工具の飛来落下による事故

※壁等の倒壊による上方からの落下を含む
※強風による資材などの飛散を含む
※UAVの落下を含む

- 整理整頓を徹底し、**不安定な積載や仮置きを避け**ましょう
- 強風が予想される場合は、**資材の固定や撤去**を今一度行いましょう



重点対策項目(5項目)に該当する事故は、措置が重くなる場合があります。

近畿地方整備局のホームページでは工事等事故防止のための安全教育資料を公開しています。現場での安全教育にご活用ください。

